



各位

2019年3月15日

会社名 東海リース株式会社
 代表者名 代表取締役社長 塚本 博亮
 (コード番号 9761)
 問合せ先 取締役総務部長 大西 泰史
 電話番号 06-6352-0001

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年4月27日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,200	570	540	310	89.17
今回修正予想(B)	14,600	260	290	140	40.27
増減額(B-A)	△600	△310	△250	△170	
増減率(%)	△3.9	△54.4	△46.3	△54.8	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	14,958	447	463	283	81.51

2019年3月期通期個別業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	15,000	470	280	80.54
今回修正予想(B)	14,400	200	100	28.77
増減額(B-A)	△600	△270	△180	
増減率(%)	△4.0	△57.4	△64.3	
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	14,709	355	228	65.71

修正の理由

売上高において、官公庁受注工事の受注単価の下落傾向が続くなか、民間受注市場においても受注競争が激化し、民間受注工事の売上高が2019年2月末時点で計画対比12.2%減少した結果、通期の全体売上高は計画対比600百万円(3.9%)減少する見通しとなりました。

損益面においては、売上高が計画に対して減少したことにより営業利益が20百万円減少し、また弊社独自にシステム開発した基礎を投入するなど、原価及び経費の低減を図っていますが、リース用資産減価償却費を含む売上原価率が計画より2%上昇したことにより売上原価が280百万円増加した等のため、前回の発表の予想数値を下回る見通しとなりました。

2. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2018年4月27日発表)	—	—	—	50.00	80.00
今回修正予想	—	—	—	30.00	60.00
当期実績	—	30.00	—		
前期実績 (2018年3月期)	—	3.00	—	60.00	—

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前期実績(2018年3月期)の1株当たり期末配当額につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の前期実績(2018年3月期)の1株当たり期末配当金は6円00銭となり、1株当たり年間配当金は9円00銭となります。

配当予想の修正

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要な課題の一つとして位置付けており、今後の収益予想、財務体質の強化を考え、将来の事業展開に見合った安定的な配当を行うことを基本方針としております。

この方針に基づき、2019年3月期の期末配当金の予想につきましては、1株当たり50円といたしておりましたが、今般、2019年3月期の通期業績予想を修正したことに伴い、当期の期末配当金の予想を1株当たり30円に修正することといたしました。

(注) 上記に記載した予想は、作成日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上